

国語科シラバス

茨城県立神栖高等学校

教 科 名		国語		教科書等		新編 現代文B 改訂版					
科 目 名		現代文B		教 材 等							
目 標		近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。									
評価の観点		関心・意欲・態度		話す・聞く能力		書く能力		読む能力		知識・理解	
観点の趣旨		国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。		目的や場に応じて効果的に話しの確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。		相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。		文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。		伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。	
評価方法	学習状況の観察	○		○				○			
	提出物・課題等	○		○		○				○	
	定期考査等					○		○		○	
観点の重み（％）		20		20		20		20		20	

学期	月	単元内容（単元名）		具体的な学習内容	
第1学期	4	Ⅱ 3 伝統を受け継ぐ	・ ひかりのどけき春の日に——日本人と桜	・ 古来日本人がどのような思いで桜を愛でていたのかを読み取る。 ・ 桜を詠んだ詩歌や俳句を集め、発表する。	
	5	Ⅰ 2 小説を楽しむ（一）	・ 殺し文句は永遠に——恋する伊勢物語	・ 伊勢物語第六段の内容と、それを筆者がどのように感じているかを読み取る。	
	6		・ ナイン	・ 正太郎に対するナインの思いを読み取り、作品の主題を理解して、「わたし」の考えに対する自分の意見をもつ。	
	7		Ⅰ 3 暮らしの中のことば	・ 言葉は変わるもの、されど伝承すべきもの	・ 日本語の不易と流行に対する知識を深め、日本語を学ぶ楽しみを味わう。 ・ 自然に関する日本語について調べて発表する。
				・ 情報の力関係	・ 図形、文字、絵など、さまざまな情報の「力関係」について理解し、自分の生活を見つめ直す。
第2学期	9	Ⅰ 4 詩を味わう	・ 小諸なる古城のほとり ・ 小景異情	・ 近代、現代の有名な詩を声に出して読み、情景や心情をとらえ、言葉のリズムを味わう。	
	10	Ⅰ 5 「自然」を考える	・ ゴリラの思いやり	・ 「ゴリラの流儀」とはどのようなものかを読み取り、筆者の主張を理解する。	
		11	6 名作を読む	・ 人工の自然——科学技術時代の今を生きるために	・ 科学技術の発達した現代における「人工の自然」という考え方を読み取り、筆者の主張を理解する。 ・ 読み取ったことをもとに、身のまわりの「人工の自然」について話し合う。
				・ 山月記	・ 漢文調の表現の響きやリズムを味わい、文体の魅力を知る。 ・ 登場人物の心情の移り変わりや情景描写に注意しながら、作品の主題を読み取る。
				7 ユーモアと心のゆとり	・ 祖母が笑うということ
12					
第3学期	1	8 情報化時代に生きる	・ メディアって何？ ・ 「検索」時代における読書	・ メディアの特性を理解し、筆者の主張を理解する。 ・ メディアによってメッセージの印象がどのように変わるかを話し合う。 ・ 「検索」時代の利点と問題点について理解し、筆者の主張をとらえる。 ・ 読み取ったことをふまえて、読書の意義について自分の意見をまとめる。	

地理歴史科シラバス

茨城県立神栖高等学校

教 科 名		地理歴史	単位数	4	教科書等	新詳世界史B（帝国書院）
科 目 名		世界史B		教 材 等	ノート、プリント、映像資料	
目 標		世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
評価の観点		関心・意欲・態度		思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
観点の趣旨		世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。		世界の歴史から課題を見だし、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたっている。	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察	○		○	○	—
	提出物・課題等	—		○	○	○
	定期考査等	—		○	○	○
観点の重み（％）		20		20	15	45

学 期	月	単元内容（単元名）		具体的な学習内容
第 1 学 期	4	1 章 オリエント世界と地中海世界の形成	1 オリエント世界の形成 2 地中海世界の形成とオリエントの融合 3 ローマと地中海世界の成長 4 ローマ帝国周辺の西アジア	オリエント世界では、乾燥地域の大河流域に農業を基盤とする文明が生まれ、最初の世界帝国が形成されたことを把握させる。また、交易などを通じた地中海世界の成立、および後世に大きな影響を与えたギリシア・ローマ文化とキリスト教の成立・発展を把握させる。さらに、サハラ砂漠以南のアフリカにも独自の文化が形成されたことに気づかせる。
	5	9 章 ヨーロッパ世界の拡大	1 地中海北方へ広がるキリスト教 2 西ヨーロッパの成長と拡大 3 封建社会の解体と王建の伸張	ヨーロッパの風土、ゲルマン人、ローマ=カトリック教会、封建社会の形成と変容、農村や商業の成長について、地域差をふまえて具体的事例にそくして確認する。またビザンツ帝国がスラヴ人に影響を与え、ギリシア正教圏を形成していったことを把握させる。
	6	8 章 イスラーム世界の形成と拡大	1 イスラーム文明の誕生 2 イスラーム世界の拡大	イスラームの誕生・拡大を、アラブ人による征服の段階と、多くの民族に受容されたイスラーム帝国の時代とに区分して理解する。その際、シーア派とスンナ派の形成と対立をつかませる。またイスラーム文明を各地域の文化を吸収した高度な文明として総合的にとらえさせる。
	7			
第 2 学 期	9	3 章 南アジア世界の形成		南アジア世界の多様性を民族・身分制・社会構造・宗教・南北の地域差の視点から把握させる。なかでも、仏教とヒンドゥー教などの宗教の特徴や、ヴァルナとジャーティの関係などを理解させる。また、ゼロの概念にみられるインド文化の先進性に気づかせる。
		5 章 東アジア世界のあけぼの	1 中華文明の形成 2 秦漢帝国と東アジア	古代文明の発生から、春秋・戦国時代の変動期を経て、さまざまな思想・文化が生まれたことをつかませる。また統一王朝と周辺諸国が成立し、それらが政治的・文化的に結びついていたことを把握させる。
	10	7 章 東アジア世界の変動と再編	1 ユーラシアの変動と東アジア世界 2 東アジア諸地域の成長と自立	魏晉南北朝から隋唐世界帝国の形成および唐宋変革をユーラシアの変動という視点からとらえさせる。さらに、東アジア諸地域に武人政権が成立し、小中華思想も生まれるなど、自立化が進んだことをとらえさせる。その際地図を活用し、ユーラシア東方について具体的なイメージをもたせる。
		10 章 ユーラシア大帝国の出現		モンゴル世界帝国の成立過程を学ぶとともに、国家システムがウルスの集合体として成り立ったものであり、多元的・開放的な性格をもつものであったことを把握させる。さらにモンゴル時代のユーラシア大交流圏が14世紀に危機を迎えたことをつかませる。
	11	2 部 海洋による世界の一体化 1 章 アジア諸地域の栄華と成熟	1 明の国際秩序と東・東南アジア 2 世界帝国清とアジア諸国の成熟 3 イスラーム世界の成熟	明・清の成立過程と、日本・朝鮮・琉球など周辺国家との関係を理解させる。特に清朝の君主のあり方に着目し、現代の状況との関係について考えさせる。また東南アジアへの華僑・ヨーロッパ人の進出、およびイスラーム各王朝の動きとインド洋貿易ネットワークを学ぶ。

	12			
第 3 学 期	1	2 章 大規模な分業体制の成立	1 大航海時代～世界の一体化の始まり 2 ルネサンスと宗教改革 3 スペインの盛衰とオランダの繁栄	「大航海」・ルネサンス・宗教改革から、ポルトガル・スペインの盛衰、およびオランダの繁栄にいたる過程とともに、主権国家・重商主義などの概念を学ぶ。また南北アメリカ大陸の風土と古代アメリカ文明について学ぶ。
	2			
	3			

保 健 体 育 科 シ ラ バ ス

茨城県立神栖高等学校

教 科 名		保 健 体 育	単位数	3	教科書等	最新高等保健体育 改訂版
科 目 名		体育（3 学年Ⅱ類）		教 材 等	最新高等保健体育ノート 改訂版	
目 標		運動の合理的・計画的な実践を通して、知識を深めると共に技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正・協力・責任・参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
評価の観点		関心・意欲・態度		思考・判断・表現	技能	知識・理解
観点の趣旨		出席を常とし遅刻をせず、公正・協力・責任・参画などに対する意欲を持ち、健康安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。		自己や仲間の課題や状況に応じて、運動を継続するための計画を工夫している。	各領域の運動の特性に応じて、自己の技能を発揮している。	体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、健康安全の確保、豊かなスポーツライフの仕方などを理解する。
評価方法	学習状況の観察	○		○	○	○
	提出物・課題等	○		○	○	○
	定期考査等	－		－	－	○
観点の重み（％）		7 0		1 0	1 0	1 0

学期	月	単元内容（単元名）		具体的な学習内容
第 1 学期	4	オリエンテーション [体育理論]	・生涯スポーツの見方・考え方	・社会におけるスポーツの役割を考えて見る。 【体操】 ・準備運動としてラジオ体操を習得し、怪我の予防に努める。
	5	体づくり運動・集団行動・体操 [体育理論]	・生涯スポーツの見方・考え方	・ライフステージに対応したスポーツを楽しむ。 【球技】 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て実生活に役立てる。 ・チームの課題や自己の能力に応じて個々の技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームが出来るようにする。
	6	選択（球技：ネット型・ゴール型） バドミントン・ソフトテニス・バスケットボール・バレーボール [体育理論]	・ライフスタイルに応じたスポーツ	・自分のスポーツライフスタイルを見つける
	7	選択（球技：ネット型・ゴール型） 卓球・フットサル・バスケットボール・バレーボール [体育理論]	・ライフスタイルに応じたスポーツ	・豊かなスポーツライフを設計する。
第 2 学期	9	[体育理論] ダンス(フォークダンス) [体育理論]	・ライフスタイルに応じたスポーツ ・日本のスポーツ振興	・マイスポーツライフを設計する。 【ダンス】 ・ダンスに主体的に取り組み、踊り方の特徴を協調して、音楽に合わせ仲間と対応して踊ることが出来るようにする。 ・日本のスポーツ振興を理解する。
	10	[体育理論]	・日本のスポーツ振興	・地域とスポーツの関わりを考える。
	11	陸上競技（中・長距離） 選択（球技：ネット型・ゴール型・ベースボール型）		【陸上競技】 ・自己の能力に応じて、記録の向上や競争の楽しさ喜びを味わい、技能を高めることが出来るようにする。
	12	ソフトボール・サッカー・バスケットボール・バレーボール		
第 3 学期	1	選択課題学習 バスケットボール バレーボール サッカー バドミントン 鉄棒		【課題学習】 ・設定された各種目の課題に対して自己の能力を発揮し、努力を持って克服する。

英 語 科 シ ラ バ ス

茨城県立神栖高等学校

教 科 名		外国語	単位数	5	教科書等	MY WAY English Communication III
科 目 名		コミュニケーション英語Ⅲ		教 材 等	ワークブック・ファイル・英和辞典	
目 標		英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成をするとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な力を養う。				
評価の観点		関心・意欲・態度		思考・判断・表現	技能	知識・理解
観点の趣旨		出席を常とし、態度が前向きで、日頃からノートを良く整理し、学習目標を達成するための努力ができ、コミュニケーションを図る積極的な態度である。		ワークシートなどの課題をきちんと完成・提出し、学習内容を英語で表現する能力を身に付け、結果的に応用力を高める努力ができている。	授業内容を理解し、言語活動に意欲的に取り組みながら、意見や考えを述べるための基礎力を習得し、結果的に応用力を高める努力ができている。	授業の復習を欠かさず、新出事項や文法事項を理解して運用することができ、また、学習内容に付随する異文化や風習を理解している。
評価方法	学習状況の観察	○		—	○	—
	提出物・課題等	—		○	—	○
	定期考査等	—		○	○	○
観点の重み（％）		25		25	25	25

学期	月	単元内容（単元名）		具体的な学習内容
第1学期	4	UNIT 1 RS1 Greeting in the world	世界の様々なあいさつとそれに込められた意味を知る。	・言語活動に積極的に取り組む。 ・聞き手に伝わるように内容を押さえながら本文を音読する。 ・フレーズリーディングやパラグラフ構成、ディスコースマーカーなどに注目し、本文を理解する。
		RS2 The Toughest Creatures	クマムシの特長と生態を知る。	
	5	RS3 A Digital Detox	デジタルデトックスという取り組みの意義を知る。	
		RS4 A Paper Architect:Shigeru Ban	紙の建築を通じた被災地支援のあり方について知る。	
		RS5 G)Laughter Therapists T)Secret of Janken	患者の回復に貢献する笑い療法士の活動について知る。 じゃんけんに勝つための秘訣とその理由について知る。	
		RS6 G)Wind Raccoon Dogs in Tokyo T)The Language Café	東京都心に生息する野生のタヌキの生態について知る。 スウェーデンにある言語を楽しむためのカフェについて知る。	
		RS7 G)The High Line T)How Fast Can Humans Run?	NYの廃線跡に建設されたハイライン公園について知る。 男子100m走の歴代記録の推移について学ぶ。	
6	RS8 G)Shortened Words in Texting T)Plant Factories	英語のメールにおける省略語の存在とその賛否について知る。 植物を生産する工場について知る。	・言語活動に積極的に取り組む。 ・聞き手に伝わるように内容を押さえながら本文を音読する。 ・フレーズリーディングやパラグラフ構成、ディスコースマーカーなどに注目し、本文を理解する。	
	RS9 G)Neighbor’ s Day T)Bicycle Sharing	都市における住民の交流を深める「隣人の日」の意義を知る。 都市で広まる自転車シェアリングのシステムについて知る。		
	RS10 G)Thirty-Six Views of the Eiffel Tower T)Blue Roses	浮世絵に影響を受けて生まれた西洋芸術について知る。 遺伝子組み換え技術により誕生した青いバラについて知る。		
7	RS11 G)Join the ABC Tennis Club! T)Kyoto One-Day Tour	テニススクールの広告を読み取る。 バスツアーの広告を読み取る。		
	UNIT 2 LESSON 1 Narrow Boats in Britain	英国におけるナローボートの役割の変遷と、現代での人気の理由を知る。		
第2学期	9	LESSON 2 A Mayor of Machu Picchu Village	ペルーのマチュピチュ村の村長になった野内与吉の生き方を知る。	・積極的な態度でペアやグループ等での言語活動に参加している。 ・読み取った内容について概要や感想、意見を話したり書いたりする。また、他の生徒の意見を聞き、それに対して質問や感想を交わす。 ・聞き手に伝わるように本文を音読する。
		LESSON 3 iPS Cells	iPS細胞の仕組みとそれはたらき、可能性を知る。	
		LESSON 4 Roman Baths	古代ローマの風呂文化を知り、その果たしていた役割を考える。	
	10	LESSON 5 Artificial Intelligence	人工知能の進化について知り、社会に与える影響について考える。	・積極的な態度でペアやグループでの言語活動に参加している。 ・科学や環境に関する説明を読んだり聞いたりして、概要や要点を理解する。また本文内容に対して、不十分な情報を検索・収集しまとめて発表する。
		LESSON 6 Digital Books vs. Printed Books	電子書籍と紙の書籍についての討論を読み、双方の特徴と、討論における論の展開方法を学ぶ。	
	11	LESSON 7 Buckwheat around the World	各国におけるソバの生産と消費について知り、その食文化を学ぶ。	
		LESSON 8 A Message from Small Creatures	ミツバチとスズメの減少から考えられる、環境の変化とその影響を知る。	
LESSON 9 Aung San Suu Kyi		アウサンスーチーさんの生き方を通じて、信念を貫くことの尊さについて考える。		
12	LESSON 10 The Wonders of Memory	記憶のメカニズムと、記憶力を高めるための方法を学ぶ。		
	LESSON 11 A Moment Makes a Great Difference	現代における「一瞬」の重みを知り、加速する現代社会について考える。		
第3学期	1	LESSON 12 Media Literacy	メディアリタラシーについて知り、メディアとの関わり方を学ぶ。	・メディアについて関する説明を読んだり聞いたりして、概要や要点を理解することが出来る。 ・演説の要旨を理解し、演説に至るまでの歴史を調べ、まとめて発表する。
		LESSON 13 Obama’ s speech in Hiroshima	現代における英語の多様性を学ぶ。 オバマ元大統領が広島で行った演説の内容を知る。	

理 科 シ ラ バ ス

茨城県立神栖高等学校

教 科 名		理科	単位数	4	教科書等	物理（啓林館）
科 目 名		物理	教 材 等			
目 標		物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。				
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断・表現		技能	知識・理解
観点の趣旨		授業に出席し、ノート整理や課題提出を行い、学習やグループ活動に意欲的に取り組み、物質とその変化について関心をもつ。	ワークシートを完成・提出し、発表やグループ活動を通して学習内容を表現するとともに、物質とその変化の事象を科学的に考察する。		観察、実験などに積極的に参加し、その基本操作を習得するとともに、それらの結果をワークシートに記録、整理することができる。	小テストや課題へ取り組み、物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を見につけている。
評価方法	学習状況の観察	○	○		○	—
	提出物・課題等	—	○		○	—
	定期考査等	—	○		○	○
観点の重み（％）		3 0	2 0		2 0	3 0

学期	月	単元内容（単元名）		具体的な学習内容
第 1 学期	4	第 1 部 様々な運動 第 1 章 物体の運動とつり合い	第1節 平面内の運動 第2節 放物運動 第3節 剛体のつり合い	- ベクトルの考え方から、速度の合成と分解、相対速度を理解する。 - 単位時間当たりの速度変化が加速度であることを理解する。 - 剛体が静止している状態は、モーメントがつり合っていることを理解する。 - 衝突と、運動量保存の法則を理解する。 - エネルギーと運動量の保存性の違いを理解する。 - 加速度が運動の中心向きであることを理解する。 - 遠心力と向心力の違いを理解する。 - 単振動や波動を三角関数を用いて表す。 - ケプラーの法則を理解する。 - 離れた距離での引力の影響とエネルギーを理解する。 - 正弦波を決める要素として、周期・振動数・波長・伝わる速さがあること、および、それら相互の関係を理解する。 - 波の独立性、重ね合わせ、定常波を理解する。 2つの円形波が干渉するしくみを理解する。 - 屈折によって、波面がどのように変化するのかを理解する。 - 音波は空気や水を伝わる縦波であることを理解する。 - 音も水面波のように、反射・屈折・回折・干渉などの性質をもつことを理解する。 - 音源・観測者それぞれが運動している時、音の高さが変化して聞こえることを理解する。
	5	第 2 章 運動量と力積	第 1 節 運動量の保存 第 2 節 反発係数	
	6	第 3 章 円運動と単振動	第 1 節 円運動 第 2 節 慣性力と遠心力 第3節 単振動	
	7	第4章 万有引力 第 5 章 気体分子の運動 第 2 部 波動 第 1 章 波の性質 第2章 音の性質	第1節 万有引力 第 1 節 気体の状態方程式 第 2 節 気体分子の熱運動 第 3 節 熱力学第 1 法則 第 1 節 波の伝わり方 第 2 節 波の干渉と回折 第3節 波の反射と屈折 第 1 節 音波 第2節 ドップラー効果	
第 2 学期	9	第3章 光の性質	第3章 光の性質	- 光の全反射について、屈折の法則から理解する。 - 光の波長と屈折率の関係を理解する。 - 作図によって、レンズの式を幾何学的に導く。 - ヤングの実験の干渉縞はいかにして生じるか、その実験そうちについて理解を深め、干渉縞の間隔と光の波長の関係を理解する。 - 電気の正体が電子であることを知る。 - 静電気の現象が電子の移動により起こることを理解する。 - 静電気に関するクーロンの法則を理解する。 - 電解と電位の関係と、荷電粒子の受ける力を理解する。 - コンデンサーの構造と電気容量の関係を理解する。 - 電流が電子の流れる量であることを理解し、オームの法則を用いて電流、電圧、抵抗を計算する。 - 直流回路において抵抗の直列、並列回路の計算を行う。 - 電気回路における半導体の働きを理解する。
	10	第 3 部 電気と磁気 第1章 電界と電位 第 2 章 電流	第 3 部 電気と磁気 第1章 電界と電位 第 2 章 電流	
	11			
	12			
第 3 学期	1	第3章 電流と磁界	第 1 節 磁気力と磁界 第 2 節 電流がつくる磁界 第 3 節 電流が磁界から受ける力 第4節 ローレンツ力	- クーロンの法則を用いて電磁気に働く力を計算する。 - 電流を流した際に磁界ができることを理解し、その磁界の強さを計算する。 - 磁界の強さとクーロンの法則を組み合わせ、導線に働く力を計算する。 - 電流として流れている電子に働く力を計算する。
	2			
	3			

理科シラバス

茨城県立神栖高等学校

教 科 名		理科	単位数	4	教科書等	高等学校生物（第一学習社）
科 目 名		生物	教 材 等			
目 標		生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。				
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断・表現		技能	知識・理解
観点の趣旨		自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。		観察、実験を行い、基本操作を修得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察	○	○		○	－
	提出物・課題等	－	○		○	－
	定期考査等	－	○		○	○
観点の重み（％）		30	20		20	30

学期	月	単元内容（単元名）		具体的な学習内容		
第 1 学期	4	第 1 編 生命現象と物質 第1章 細胞と分子	生体物質と細胞	・生物に含まれる元素は、主に酸素、炭素、水素、窒素であることを理解する。 ・さまざまな細胞小器官について、その働きと構造を理解する。		
			細胞膜を介した物質の移動	・受動輸送と能動輸送の違いを理解している。 ・動物細胞と植物細胞の浸透現象を理解している。		
	5	第2章 代謝	生命現象とタンパク質	・アミノ酸の配列と数の違いによって、タンパク質の構造が変化することを理解している。 ・タンパク質の一次構造、二次構造、三次構造、四次構造について理解している。		
			代謝とエネルギー代謝	・代謝には同化と異化があることを理解している。 ・エネルギー代謝について理解している。		
	6		同化	・光合成の過程と、ATP 合成の関係について科学的に理解する。 ・植物の光合成と細菌の光合成や化学合成の違いを理解している。		
			窒素同化	・植物の窒素同化の反応を科学的に理解する。		
	7	第3章 遺伝情報の発現	異化	・アルコール発酵と乳酸発酵、解糖の過程を理解している。 ・呼吸基質と呼吸商の関係について探究的に理解する。		
			遺伝情報とその発現	・DNA の複製のしくみを理解している。 ・転写と翻訳の過程を理解している。		
			遺伝子の発現調節	・遺伝子発現の調節と細胞の分化との関係を理解する。 ・ラクトースオペロンが発現されたり抑制されたりするしくみを理解する。		
			バイオテクノロジー	・遺伝子組み換えの方法や用いる酵素などを理解する。 ・バイオテクノロジーの課題を理解している。		
第 2 学期	9	第 2 編 生殖と発生 第 4 章 有性生殖	減数分裂と受精	・減数分裂の過程とそれに伴う DNA 量の変化を理解している。 ・減数分裂を経て多様な染色体の組み合わせの配偶子が生じ、配偶子の合体によって子の染色体の組み合わせがさらに多様化することを理解している。		
			遺伝子と染色体 配偶子形成と受精	・組換えによって、配偶子の染色体構成がさらに多様化することを論理的に理解する。 ・精子と卵の構造を理解している。 ・多精拒否のしくみを科学的に考察し、理解する。		
		10	第 5 章 動物の発生	初期発生の過程	・卵割の様式と卵黄の分布の関係を理解している。 ・ヒトの受精と発生の過程を理解している。	
				細胞の分化と形態形成 器官の形成と細胞の死	・胚の区画化は、調節遺伝子が連鎖的に発現することによって起こっていることを理解する。 ・誘導の連鎖によって器官が形成されることを理解しようとする。 ・発生の過程では、プログラム細胞死が起こって形成される器官があることを理解している。 ・ES 細胞や iPS 細胞の特徴を理解している。	
	12	第 6 章 植物の発生	配偶子形成と胚発生	・重複受精の過程を理解している。 ・被子植物の胚発生の過程を理解している。		
			第 3 編 生物の環境応答 第 7 章 植物の環境応答	植物の環境応答と植物ホルモン 植物の環境応答とそのしくみ	・植物ホルモンによって植物の成長が調節されるしくみを理解している。 ・日長と花芽形成の関係を理解している。	
		第 8 章 動物の反応と行動	刺激の受容と反応 動物の行動	・ヒトの各受容器に対する適刺激を理解している。 ・骨格筋と筋原繊維の構造としくみを理解している。 ・かぎ刺激によって特定の行動が引き起こされることを理解している。		
			第 4 編 生物と環境 第 9 章 個体群と生物群集	個体群	・環境と個体群の変動性を科学的に考察し、理解する。 ・共生や寄生の関係を理解している。	
				生物群集	・環境形成作用と多様な種の共存の関係を理解している。	
		第 3 学期	1	第 5 編 生物の進化と系統 第10章 生態系	生態系の物質生産 生態系と生物多様性	・生態系における物質の生産と消費の関係を理解している。 ・生態系におけるエネルギー効率を科学的に理解する。 ・生物多様性の 3 つのとらえ方を理解している。

商業科シラバス

茨城県立神栖高等学校

教 科 名		商 業	単位数	3	教科書等	新簿記 新訂版（実教出版）	
科 目 名		簿 記	教 材 等		教科書、ノート、問題集、電卓他		
目 標		商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。					
評価の観点		関心・意欲・態度		思考・判断・表現		技能	知識・理解
観点の趣旨		個人企業における簿記に関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けているか。		各取引におけるいろいろな記帳についての解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けているか。		個人企業における簿記に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用しているか。	個人企業における簿記に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、簿記の基本的な仕組みについて理解できたか。
評価方法	学習状況の観察	○		○		○	○
	提出物・課題等	—		○		○	○
	定期考査等	—		○		○	○
観点の重み（％）		2 0 ％		2 0 ％		3 0 ％	3 0 ％

学期	月	単元内容（単元名）		具体的な学習内容
第1学期	4	第1編 簿記の基礎	第1章 簿記の基礎 第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表 第3章 収益・費用と損益計算書	① 記帳の基礎となる簿記の基本的なしくみを学ぶ。 ② 簿記の意味、目的、歴史などの簿記の基本的内容を学ぶ。 ③ 資産、負債、資本の意味及び貸借対照表の作成とその技法について学ぶ。 ④ 収益、費用の意味及び損益計算書とその技法について学ぶ。
	5	◆1学期中間考査	第4章 取引と勘定 第5章 仕訳と転記 第6章 仕訳帳と総勘定元帳 第7章 試算表	⑤ 取引と勘定の概要、及び取引の分解と勘定記入について学ぶ。 ⑥ 取引の仕訳及び転記の方法とその手順について学ぶ。 ⑦ 仕訳帳への記入及び総勘定元帳への転記について学ぶ。 ⑧ 試算表の意義とその作成方法について学ぶ
	6		第8章 精算表 第9章 決算 第10章 現金・預金などの取引	⑨ 精算表の役割と複式簿記のしくみについて学ぶ。 ⑩ 決算の意味及びその必要性、また、決算手続き全体の流れについて学ぶ。 ⑪ 現金、当座預金、当座借越、小口現金の取引と、現金出納帳、当座預金出納帳、小口現金出納帳などの記帳方法について学ぶ。
	7		第11章 商品売買の取引 第12章 掛け取引 第13章 手形の取引 第14章 有価証券の取引	⑫ 分記法と3分法との違い及び3分法の記帳方法を学ぶ。 ⑬ 仕入帳、売上帳、商品有高帳の記帳方法、商品売買損益と売上原価の計算方法について学ぶ。 ⑭ 売掛金元帳、買掛金元帳の記帳方法について学ぶ。 ⑮ 約束手形、為替手形のしくみについて学ぶ。 ⑯ 有価証券のしくみとその取引の仕訳について学ぶ
第2学期	9	第3編 決算（その1） ◆2学期中間考査	第15章 その他の債権・債務 第16章 固定資産の取引 第17章 個人企業の資本取引 第18章 販売費及び一般管理費と税金の取引 第19章 決算整理（その1） 第20章 8桁精算表 第21章 帳簿決算	① 前払金と前受金、仮払金と仮受金等、債権と債務の関係について学ぶ。 ② 固定資産の意味と種類について学ぶ。 ③ 追加元入れ、引出金とその仕訳について学ぶ。 ④ 販売費及び一般管理費の意味と記帳方法について学ぶ。 ⑤ 個人企業に課せられる税金の記帳方法について学ぶ。 ⑥ 決算整理の意味とその必要性について学ぶ。 ⑦ 各決算整理事項の仕訳について学ぶ。 ⑧ 8桁精算表がどのように機能しているかを学ぶ。 ⑨ 損益計算書、貸借対照表の作成と会計情報の重要性について学ぶ。
	10		第22章 会計帳簿 第23章 伝票	⑩ 各帳簿の締め切りの方法について学ぶ。 ⑪ 3伝票を用いた場合の起票や集計方法のルールについて学ぶ。
	11	第4編 会計帳簿と帳簿組織 ◆2学期期末考査		
第3学期	12	第5編 決算（その2）	第24章 決算整理（その2） 第25章 財務諸表の作成	⑫ 収益、費用の繰り延べと見越しの意味と記帳方法について学ぶ。 ⑬ 減価償却の間接法、有価証券の評価替えについて学ぶ。 ⑭ 財務諸表の作成方法について学
	1	第6編取引の記帳（その2） 第7編 仕訳帳の分割 ◆全商簿記実務検定 ◆学年末考査	第26章 特殊な商品売買の取引 第27章 特殊な手形の取引 第28章 仕訳帳の分割 第29章 5伝票による記帳	① 特殊な取引の記帳方法について学ぶ。 ② 特殊な売買取引の意味と処理の仕方について学ぶ。 ③ 特殊な手形の取引について学ぶ。 ④ 仕訳帳の分割の意味とその長所について学ぶ。 ⑤ 仕訳帳の分割について、その記帳の技術を学ぶ。
	2			
	3			

理 科 シ ラ バ ス

茨城県立神栖高等学校

教 科 名		理科	単位数	3	教科書等	改定化学（東京書籍）
科 目 名		化学	教 材 等			
目 標		化学的な事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。				
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断・表現		技能	知識・理解
観点の趣旨		化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身につけている。	化学的な事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。		化学的な事物・現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察	○	○		○	—
	提出物・課題等	—	○		○	—
	定期考査等	—	○		○	○
観点の重み（％）		3 0	2 0		2 0	3 0

学期	月	単元内容（単元名）		具体的な学習内容
第 1 学期	4	1 編 物質の状態	1 章 物質の状態	・物質の三態変化について、エネルギー・温度・分子間力の影響を理解する。 ・気体・液体間の状態変化について、気液平衡・沸騰の現象や状態図を理解・習得し、その具体的なあてはめ方について基本的な知識を身に付ける。
			2 章 気体の性質	・ボイル・シャルルの法則の意味を理解・習得し、その具体的なあてはめ方について基本的な知識を身に付ける。 ・気体の状態方程式・分圧の法則・理想気体と実在気体の意味を理解する。
	5		3 章 溶液の性質	・固体や気体の溶解度と温度や圧力との関係、沸点上昇や凝固点降下と溶質の分子量、浸透圧と溶質の分子量の関係について、その意味を理解する。 ・コロイド粒子と溶液の性質ついて基本的な知識を身に付ける。
	6		4 章 固体の構造	・金属結晶、イオン結晶、共有結合の結晶、分子結晶、非晶質の構造について理解し、それらの特性についても基本的な知識を身に付ける。
	7	2 編 化学反応とエネルギー	1 章 化学反応と熱・光	・反応熱を正確に表現できる熱化学方程式について理解・習得し、いろいろな反応熱について正しく表現する。 ・エネルギーとしての光も含めてヘスの法則の意味するところを理解・習得し、その応用としての生成熱や結合エネルギーの扱い方について基本的な知識を身に付ける。
			2 章 電池と電気分解	・電池の原理と実用電池の反応の様式やしくみについて理解する。 ・電気分解の原理と金属のイオン化傾向や陰イオンの反応のしやすさ、さらにはファラデーの法則について理解・習得し、個々の具体的な電気分解の反応と量的関係の考察を通じて基本的な知識を身に付ける。
第 2 学期	9	3 編 化学反応の速さと平衡	1 章 化学反応の速さ	・化学反応速度の意味と表現方法、濃度・温度・触媒・固体表面積等の影響を理解・習得する。 ・触媒の作用を含む反応のしくみについて理解・習得し、具体的な反応にあてはめる基本的な知識を身に付ける。
			2 章 化学平衡	・可逆反応における化学平衡の意味、固体反応を含む平衡定数を理解する。 ・ルシャトリエの原理とその工業的な応用としてのアンモニア合成について理解する。
	10		3 章 水溶液中の化学平衡	・弱酸・弱塩基の電離平衡と電離度、水のイオン積と水溶液の pH 等を理解・習得し、具体的な水溶液についてあてはめる基本的な知識を身に付ける。 ・弱酸・弱塩基からなる塩の加水分解、緩衝作用とpH変動、難溶性塩の溶解平衡について理解・習得し、平衡移動・溶解度積・共通イオン効果等の考え方を個々の具体的な反応にあてはめる。
	11	4 編 無機物質	1 章 周期表と元素 2 章 非金属元素の単体と化合物 3 章 典型金属元素の単体と化合物	・単体や無機化合物の性質や反応に関する基本的な概念や原理・法則及び周期表との関係を理解する。
	12		4 章 遷移元素の単体と化合物 5 章 無機物質と人間生活	・単体や無機化合物について、化学工業に関連付けて理解する。 ・単体や無機化合物について、人間生活と関連付けて理解する。
第 3 学期		6 編 高分子化合物	1 章 天然高分子化合物 2 章 合成高分子化合物 3 章 高分子化合物と人間生活	・天然高分子化合物の性質や反応性について、糖類、アミノ酸とタンパク質、酵素、核酸等を通して理解する。 ・合成高分子化合物の合成反応や性質・反応性について、合成繊維、プラスチック、ゴム等の用途別の代表的な合成高分子化合物について理解する。 ・合成高分子化合物について、人間生活と関連付けて理解し、知識を身に付ける。

地 理 歴 史 科 シ ラ バ ス

茨城県立神栖高等学校

教 科 名		地理歴史	単位数	3	教科書等	詳説日本史B（山川出版社）
科 目 名		日本史B（3年Ⅱ類）	教 材 等			
目 標		わが国の歴史の展開を諸資料に基づき総合的に考察し、伝統と文化の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、日本国民としての自覚と資質を養う。				
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断・表現		技能	知識・理解
観点の趣旨		わが国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、授業を休まず、学習目標を達成しようと努力し、主体的に対応できる態度を育てることができる。	わが国の歴史の展開から各時代背景の影響と関連付けて考察し、文化と伝統の特色について認識を深め、その過程や結果を適切に表現している。		わが国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。	わが国の歴史の展開についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けることができる。
評価方法	学習状況の観察	○	○		○	－
	提出物・課題等	○	○		○	－
	定期考査等	－	○		○	○
観点の重み（％）		2 5	2 0		1 5	4 0

学 期	月	単元内容（単元名）		具体的な学習内容
第 1 学 期	4	第Ⅲ部 近世 第 8 章 幕藩体制の動揺	1. 幕政の改革 2. 宝暦・天明期の文化 3. 幕府の衰退と近代への道 4. 化政文化	○各改革における内容やその効果を理解している。 ○近代国家の形成と社会や文化の特色に対する関心をもち、追究している。 ○近代国家と社会や文化の特色に関する諸資料を適切に選択して、効果的に活用している。
	5	第Ⅳ部 近代・現代 第 9 章 近代国家の成立	1. 開国と幕末の動乱 2. 明治維新と富国強兵 3. 立憲国家の成立と日清戦争 4. 日露戦争と国際関係 5. 近代産業の発展 6. 近代の文化の発達	○近代国家の展開と社会や文化の特色について意欲的に追究している。 ○近代国家の形成と社会や文化の特色に関する情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ○明治維新以降のわが国の近代化の推進過程についての基本的な事柄を、開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化と関連付けて総合的に理解している。 ※昨今の領土問題に関して、明治政府樹立の過程で竹島は我が国固有の領土として国際的な承認を得ていたことを学習する。
	6			
	7			
第 2 学 期	9	第 10 章 二つの世界大戦とアジア	1. 第一次世界大戦と日本 2. ワシントン体制 3. 市民生活の変容と大衆文化 4. 恐慌の時代 5. 軍部の台頭 6. 第二次世界大戦	○政党勢力が国民統合の中心的役割を果たしていく過程を理解し、欧米からアジアに至るまで広い範囲の国際環境の推移に着目し、日本の対外政策が国内外に及ぼした影響を理解している。 ○欧米文化のかかわりと浸透度、社会風潮との関連付けに着目して考察している。 ○国内外の経済状況と対策をまとめることができる。
	10	第 11 章 占領下の日本	1. 占領と改革 2. 冷戦の開始と講話条約	○GHQ による諸政策が日本国民の戦争に対する反省に支えられて実施されたことに気づいている。 ○国民主権・平和主義・基本的人権の尊重の 3 原則を中心とする日本国憲法が制定された経緯と意味を理解している。 ※戦後の我が国の領土に関して、特に北方領土に関しては現在もロシアによる不法占拠が続いていることを学習する。
	11			
	12			
	第 3 学 期	1	第13章 激動する世界と日本	1. 経済大国への道 2. 冷戦終結と日本社会の動揺
2				
3				

公 民 科 シ ラ バ ス

茨城県立神栖高等学校

教 科 名		公民	単位数	3	教科書等	最新 政治・経済
科 目 名		政治・経済	教 材 等		ノート・プリント	
目 標		広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。				
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断・表現		技能	知識・理解
観点の趣旨		授業を休まず学習目標を達成しようと努力でき、主体的に対応できる態度が育ったか。	政治・経済について自分の考え方を主体的に持つことの大切さを自覚しているか。また自ら判断し、表現できるか。		政治・経済に関する諸資料や年表を適切に選択して、効果的に活用している。	政治・経済に対する基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けたか。
評価方法	学習状況の観察	○	○		○	—
	提出物・課題等	○	○		○	—
	定期考査等	—	○		○	○
観点の重み（％）		2 5	2 0		1 5	4 0

学期	月	単元内容（単元名）		具体的な学習内容
第 1 学期	4	現代国家と民主政治	民主政治の成立 民主政治の基本原理 民主政治のしくみと課題 世界のおもな政治制度	・近代民主政治とはどのようにして成立したかが理解できたか。 ・基本的人権が確立していく中で、自由権から社会権への広がり と法の支配を学ぶ。 ・国民主権と議会制民主主義、権力分立について、歴史的な背景を視野に入れる。
	5	日本国憲法と基本的人権	日本国憲法の成立 日本国憲法の基本原理 人権の広がり と公共の福祉	・イギリス・アメリカ・中国をモデルにしながら様々な政治体制があることを知る。 ・明治憲法と日本国憲法の在り方や本旨を理解し、日本国憲法の制定された背景を理解する。 ・憲法の三大原理を中心に、最高法規性と憲法改正についての硬性な部分を学ぶ。 ・人権の国際化を学ぶと共に、自由権・社会権・参政権・平等権・請求権・新しい人権など拡大していく人権の背景を学習する。
	6	日本の政治制度と政治参加	政治機構と国会 内閣と行政機能の拡大 公正な裁判の保障 選挙制度	・国会の地位や役割を学習すると共に、国会の構成と権限を理解し、二院制の必要性を学ぶ。 ・内閣と議院内閣制の特徴を理解し、行政権の拡大化や官僚制との関わりを理解する。 ・国民の権利としての裁判を前提に、最高裁判所の立場や国民と司法の関係性を追求する。 ・主権者教育の観点から選挙制度の方法を学びつつ、選挙権の重要性を学ぶ。
	7	現代の国際政治	国際社会の変化 国際連合と国際協力 冷戦終了後の国際政治 軍拡競争から軍縮へ	・国際的な人権保障の各台に伴う戦争の違法か進展を学び、国際政治の変化に対応できる力をつける。 ・国連と集団安全保障の関連性を紐解き、P K O活動などの国際協力を理解する。 ・地域・民族紛争の拡大に伴う難民問題やテロリズムの拡大の経緯を学び、日本の平和と比較する。 ・軍縮の現状と課題をあげ、世界で唯一の被爆国として核の廃絶を目指す方法を模索する。
第 2 学期	9	日本の平和主義と国際平和	平和主義と自衛隊 日米安全保障体制の変化 21世紀の平和主義 日本の外交と国際社会	・憲法 9 条だけでなく、政府の解釈の変化を追求し、今後の日本の平和について考察する。 ・なぜ日米安全保障条約が締結され今日に至っているのか、今後の課題は何かを考える。 ・日本が歴史的に抱える問題である自衛隊の海外派遣について考察さえ集団的自衛権を理解する。
	10	現代の経済社会	日本の外交と国際社会 経済社会の変容 経済主体と市場の働き 企業の役割 国民所得 金融の役割 日本銀行の役割	・日本のアジア外交の歴史と問題点を学び、日本の果たすべき役割とは何かを考察させる。 ・資本主義経済と社会主義経済の基本的な変容を学び、市場のグローバル化を理解させる。 ・経済循環にて市場の働きを理解し、資本主義経済における市場の競争メカニズムを学ぶ。 ・企業の株式化を学び、めまぐるしく動く企業形態を理解するとともに社会的責任を考える。 ・国民総生産と国内総生産を理解しつつ、国民総所得から国民所得の算出方法を理解させる。 ・金融機関のメインである銀行のしくみと、金融の自由化・国際化の流れを理解させる。
	11	現代の日本経済と福祉の向上	財政の役割と租税 日本経済の課題 中小企業と農業 社会保障の役割	・中央銀行の役割を理解させ、金融政策による景気のコントロールを学ばせる。 ・財政政策の役割を理解させ、資本主義経済の中でどのように景気が左右されているか理解する。 ・税制改革と財政構造改革の二つの改革を中心に日本の未来に直面する問題を明確化させる。 ・中小企業の現状と今後の問題点を理解するとともに、日本の農業の在り方を学習する。 ・社会保障制度の歴史と日本の社会保障制度の変化と諸課題をあげ、その解決策を模索する。
	12	現代の国際経済	貿易と国際収支 外国為替市場のしくみ 国際経済の動向 発展途上国の諸問題 経済協力と日本の役割	・自由貿易と保護貿易について理解させ、国際収支を通じて各国の豊かさを比較する。 ・為替のしくみを理解させ、変動為替相場制の特徴や今後の在り方を考察させる。 ・国際経済の統合へ向けた動きを理解させ、貿易の自由化にむけての諸課題をみつける。 ・南北問題の存在を理解させ、南南問題、累積債務問題など他国の現状を理解させる。 ・途上国に対する開発や援助の重要性を学び、日本のODAを中心とした責任と課題を学ぶ。
第 3 学期	1	現代社会の諸課題	産業構造の変化と中小企業 少子高齢社会と社会保障	・多くの新しい企業ができあがっていく今日の中小企業で、働くことの難しさと自ら積極的に仕事に対する情熱をむける競争性を理解させ、変化する社会に対応できる力を身につけさせる。 ・日本の超少子高齢化問題を理解させ、その課題と解決策を自分たちで考えまとめさせる。
	2			
	3			

芸術音楽科シラバス

茨城県立神栖高等学校

教 科 名		学校設定科目	単位数	3	教科書等	バイエルピアノ教則本
科 目 名		音楽実技	教 材 等		コールユーブンゲン、ピアノ	
目 標		進学・就職に必要な基本的な音楽理論と楽譜を正確に速く読み取る、または再現する能力を身に付ける。				
評価の観点		授業への関心・意欲・態度	芸術的な感性や表現の工夫		視唱・ピアノの技能	知識・理解
観点の趣旨		音楽活動・学習に関心を持ち、主体的、意欲的に音楽活動・学習に取り組んでいる。	音楽活動・学習に関心を持ち、主体的、意欲的に音楽活動・学習に取り組んでいる。		創意工夫を生かした音楽表現をするため、また瞬時の演奏に柔軟に対応するための技能を身に付けている。	楽譜を読む、または再現するために必要な知識を通して音楽に対する理解を深める。
評価方法	学習状況の観察	○	○		○	○
	提出物・課題等	○	—		—	○
	実技試験	—	○		○	—
観点の重み（％）		3 0	2 0		3 0	2 0

学期	月	単元内容（単元名）		具体的な学習内容
第1～3学期	4	○視唱	・ コールユーブンゲン ・ ソルフェージュ	・ 視唱課題を通して楽譜の読解力と再現力を高める。
		○楽典	・ 音名 ・ 音価 ・ 音程	・ 演奏に必要なとなる基本的な楽典知識を身に付ける。
	3	○ピアノ演奏	・ バイエルピアノ教則本 ・ 音色、リズム、強弱、フレーズ ・ 童謡、ポップスの弾き歌い	・ 習熟度別に与えられる課題を練習し、レッスンを受ける。 ・ 人前で演奏することを想定し、童謡やポップス等の弾き歌いができるようにする。

数 学 科 シ ラ バ ス

茨城県立神栖高等学校

教 科 名		数学	単位数	5	教科書等	改訂版 新編 数学Ⅲ（数研出版）
科 目 名		数学Ⅲ	教 材 等		改訂版 クリアー数学Ⅲ（数研出版）	
目 標		平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断・表現		技能	知識・理解
観点の趣旨		平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法における数学的な見方や考え方を身に付けている。		平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察	○	○		—	—
	提出物・課題等	○	○		—	—
	定期考査等	—	—		○	○
観点の重み（％）		20	20		30	30

学期	月	単元内容（単元名）		具体的な学習内容
第1学期	4	第1章 複素数平面	複素数平面 複素数の極形式 ド・モアブルの定理 複素数と図形	- 複素数の図形的側面を理解する。 - 共役複素数を求める。 - 対称な点を表す複素数を理解する。 - 極形式を利用する。 - ド・モアブルの定理を利用する。 - 図形の性質を複素数を利用して考察する。 - 放物線の方程式を標準形で表す。 - 放物線や双曲線の概形をかき、焦点、準線を求める。 - 媒介変数を消去した式で表す。
	5	第2章 式と曲線 第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標	放物線 楕円 双曲線	
	6	第3章 関数	分数関数 無理関数 逆関数と合成関数	
	7	第4章 極限 第1節 数列の極限	数列の極限 無限等比数列 無限級数	
第2学期	9	第2節 関数の極限	関数の極限 関数の連続性	- 関数の極限を求める。 - 不定形を解消するように式の変形を工夫する。 - 関数の連続、不連続を考察する。 - 各種の微分法を理解し、計算に利用する。 - 三角関数、対数関数、指数関数の導関数を理解し、導関数を計算する。 - 種々の接線を求める。 - 平均値の定理に興味をもち、図形的意味を考察する。 - 極値や増減を考察する。 - 増減、凹凸などを調べてグラフをかく。 - 微分法の逆演算として、不定積分を計算する。 - 置換積分や部分積分を利用する。 - 定義、性質を理解し、定積分を計算する。
	10	第5章 微分法 第1節 導関数 第2節 いろいろな関数の導関数	微分係数と導関数 導関数の計算 いろいろな関数の導関数	
	11	第6章 微分法の応用 第1節 導関数の応用	接線の方程式 平均値の定理 関数の値の変化 関数のグラフ	
	12	第7章 積分法とその応用 第1節 不定積分 第2節 定積分	不定積分とその基本性質 置換積分法・部分積分法 定積分とその基本性質	
第3学期	1	第3節 積分法の応用	面積・体積 曲線の長さ	- 定積分が図家の計量に関して有用であることを認識する。 - 直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で求める。 - 立体の体積を計算するのに、断面積を表す関数を積分すればよいことを理解する。 - 回転体の体積を求める。
	2			
	3			

英語科シラバス

茨城県立神栖高等学校

教 科 名		外国語	単位数	2	教科書等	MAINSTREAM English Expression I SECOND EDITION
科 目 名		英語表現 I		教 材 等	ワークブック、ファイル、英和辞典	
目 標		英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。				
評価の観点		関心・意欲・態度		思考・判断・表現	技能	知識・理解
観点の趣旨		コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。		外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している。	外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。
評価方法	学習状況の観察	○		○	○	○
	提出物・課題等	—		○	○	—
	定期考査等	—		○	○	○
観点の重み（％）		2 5		2 5	2 5	2 5

学期	月	単元内容（単元名）		具体的な学習内容
第 1 学期	4	Lesson1 Nice to Meet You Lesson2 What Kind of Music Do You Like? Lesson3 My Treasure	・初対面の挨拶 ・文の要素 ・理由をたずねる／答える ・現在形 ・確認する ・過去形	・初対面の挨拶を練習し、自分の名前について説明する。 ・自分の好きな音楽について質問したり、答えたりする。 ・自分の宝物を紹介し合う。
	5	Lesson4 This Coming Weekend Lesson5 Subject I'm Talking Lesson6 Are You in a Club?	・誘いを受ける／断る ・未来の表現 ・賛成する／反対する ・進行形 ・希望を述べる ・現在完了形	・週末の予定について話し、相手の提案を受けたり断ったりする表現を身につける。 ・自分の取っている科目について意見を述べ、ペアで会話をし、意見に賛成したり反対したりする表現を身につける。 ・クラブ活動について会話し、相手に期待することを伝える。
	6	Lesson7 The School Festival Is Soon Lesson8 Getting to Asahi Senior High School	・ほめる ・現在完了進行形、過去完了形 ・お礼を言う／答える ・助動詞、命令文	・学校行事の企画や準備について紹介する。 ・相手をほめる表現を身につけて会話を続ける。 ・道案内をする。 ・お礼を言ったり答えたりする表現を身につける。
	7	Lesson9 The Store I Often Go to Lesson10 I Feel Sick	・驚きを表す ・受け身 ・助言する ・不定詞	・よく行く店を説明する。 ・驚きを表す表現を身につけ、質問をしながら会話を続ける。 ・体調について話したり、人に助言したりする。
第 2 学期	9	Lesson11 Volunteer Activities Lesson12 Japanese Food	・依頼する ・動名詞 ・誘う ・分詞	・依頼する表現を用いて、ボランティアの依頼ポスターを作る。 ・ボランティア活動参加を申し出るEメールを書く。 ・相手に提案する表現を身につける。 ・日本の食べものの魅力を伝えるリーフレットを作成する。
	10	Lesson13 Countries Around the World Lesson14 Reduce、Reuse、Recycle	・満足を表す ・関係代名詞 ・提案する ・比較	・満足を表す表現を身につけ、様々な地域の魅力についてまとめる。 ・手紙を書く。 ・提案する表現を身につけ、問題の解決策を提案する。 ・ゴミ削減に関する学校新聞の記事を作成する。
	11	Lesson15 We Are What We Eat	・意見を述べる ・関係副詞	・意見を述べる表現を身につけ、食生活に関する記事に対する自分の意見を書く。 ・英字新聞の記事を読んで、読者投稿をする。
	12	Lesson16 An Impressive Book Lesson17 Performing a Skit	・列挙する ・仮定法	・列挙する表現を用いて、順序立てて説明する。 ・自分がおすすめる本のブックレビューを作成する。 ・状況に応じた読み方をして、スキット（寸劇）をする。 ・スキット（寸劇）を作成する。
第 3 学期	1	Lesson18 Making a Presentation		・効果的なプレゼンテーション方法を意識し、プレゼンテーションを行う。